

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2014No.8】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：A. ヴィヴァルディ

曲名：ヴァイオリン協奏曲集「四季」他

演奏：ジュリアーノ・カルミニョーラ／ヴェニス・バロック・オーケストラ

発売：ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

No. : SICC 20096



概要：

ヴェニス・バロック・オーケストラは1997年結成の古楽器アンサンブルで、ジュリアーノ・カルミニョーラと来日し、このCDでも一緒に演奏しています。



来日時の目玉は何と言ってもカルミニョーラのストラディヴァリウス「バイヨー1732」によるソロ演奏を聴くことです。カルミニョーラと「バイヨー1732」の出会いはプログラムにも書かれていました。カルミニョーラが3本のヴァイオリンの中から試奏した後、「バイヨー1732」を選び、その結果に基づいてボローニャ貯蓄銀行財団理事会は、

このヴァイオリンの購入を決め、カルミニョーラに貸与することも決定した経緯がカルミニョーラ自身によって語られています。通例、ストラディヴァリウスといえども、モダン楽器としての弦の張力に耐えられるようにネックを改造しているそうですが、この「バイヨー1732」は一度もそのような手を加えられた事のないオリジナルのままだそうです。

ピリオド楽器の音色は地味で音量もそれほど大きくないのが通例ですが、カルミニョーラは大きなアクションで楽器が壊れるのではないかと思われるような、ダイナミック、かつスピード感あふれる奏法でした。モダン楽器なら随分ときつい音になるのではないかと思われましたが、「バイヨー1732」は実に魅力的な音を出しており、CDでもBS録画の再生でもその魅力は十分に堪能できます。特にBS録画ではカルミニョーラが床を踏みつける音がリアルに入っています。